

主要産地における令和5年度水稲の生育状況等について 第5報 (令和5年6月22日取り纏め)

作成：公益社団法人米穀安定供給確保支援機構情報部 (令和5年6月22日)

道県	区分	生育状況等		注釈・凶作・異常等関連公表資料(自治体、気象等公表資料の抜粋)	令和5年度の品種構成の概況
		育苗・田植進捗状況・生育状況等(自治体等公表資料の抜粋)	平年に対する遅速等		
北海道	(生育)	【生育状況(6月15日現在)】 (金通) 草丈や葉数、茎数は平年並。生育は平年並に進んでいる。(北海道農政局 6月21日付) (空知) 生育は平年並であり、分けつる発生も平年並である。(空知総合振興局 6月21日付) (石狩) 6月上旬の日照不足により、分けつるの発生が顕微である。(石狩振興局 6月21日付) (後志) 遅延は早1日。(後志総合振興局 6月21日付) (胆振) 6月上旬は日照不足により生育はやや遅れたが、全体的な生育は平年並。(胆振総合振興局 6月21日付) (日高) 生育は概ね平年並に推移している。(日高振興局 6月21日付) (珠中) 生育は平年並に進んでいる。(釧路総合振興局 6月21日付) (十勝) 生育は概ね平年並で推移。(十勝総合振興局 6月21日付) (上川) 生育は平年並である。(上川総合振興局 6月21日付) (網走) 生育は平年並に進んでいる。(網走振興局 6月21日付) (オホーツク) 生育は平年並である。(オホーツク総合振興局 6月21日付)		(全国) エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 北海道地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 北海道地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁札幌管区気象台) 北海道太平洋側は6月25日頃からかなりの高温。 (気象庁札幌管区気象台)	・「なつぼし」及び「ゆめぴりか」を中心とする品種構成となっており、主産品に大きな変化はみられない。 (農林水産省 令和5年3月15日) (出典資料は以下同じ)
		【6月20日現在】 ・「つがるロマン」は草丈が38.4cmで平年より2.0cm長く、株当たりの茎数は21.8本で4.8本多く、葉数は7.8葉で0.1葉多かった。 ・「青天の霹靂」は草丈が42.8cmで3.4cm長く、株当たりの茎数は19.0本で3.2本多く、葉数は7.1葉で平年並みであった。 ・「あましろ」は草丈が44.3cmで2.4cm長く、株当たりの茎数は19.9本で3.0本多く、葉数は7.6葉で0.2葉多かった。 ・「はれわたる」は草丈が41.4cm、株当たりの茎数は20.3本、葉数は7.4葉であった。 (地独) 青森県産業技術センター-農林総合研究所 6月20日付)		(全国) エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月25日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月(8:31)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「まっしろ」及び「つがるロマン」を中心とする品種構成となっている。
青森	(生育)	【6月20日現在】 ・「つがるロマン」は草丈が38.4cmで平年より2.0cm長く、株当たりの茎数は21.8本で4.8本多く、葉数は7.8葉で0.1葉多かった。 ・「青天の霹靂」は草丈が42.8cmで3.4cm長く、株当たりの茎数は19.0本で3.2本多く、葉数は7.1葉で平年並みであった。 ・「あましろ」は草丈が44.3cmで2.4cm長く、株当たりの茎数は19.9本で3.0本多く、葉数は7.6葉で0.2葉多かった。 ・「はれわたる」は草丈が41.4cm、株当たりの茎数は20.3本、葉数は7.4葉であった。 (地独) 青森県産業技術センター-農林総合研究所 6月20日付)		(全国) エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月25日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月(8:31)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「まっしろ」及び「つがるロマン」を中心とする品種構成となっている。
岩手	(生育)	【6月15日現在】 ・草丈は、「あきたこまち」が平年並でその他の品種はやや長い。 ・茎数は「ひとめぼれ」が平年並でその他の品種は多い。 ・葉数は各品種ともほぼ平年並となっている (岩手県農業研究センター-生産基盤研究所生産システム研究室・東北農業研究所作物研究室 6月16日付)		(全国) エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月25日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月(8:31)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「ひとめぼれ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。農のオリジナル品種である「龍河のしずく」が、耐病性、耐病性に優れていることから増加傾向となっている。
宮城	(生育)	【6月20日現在】 ・吉川農業試験場の「ひとめぼれ」では、草丈は41.9cm(平年比123%)、1㎡当たりの茎数は405本(平年比81%)、葉数は18.3枚(平年並+0.2枚)となっており、平年と比較して茎数はやや少なく、葉数は概ね平年並である。(宮城県 6月21日付) (亶 理) 葉数はほぼ平年並、葉は平年を上回っているが、田植後の植え込みが影響し、1㎡当たり茎数が平年値を下回っている。 (栗 原) 「ひとめぼれ」は、草丈が平年を上回ったが、茎数が平年と比べて少なくなっている。葉数は平年並からやや少なく、生育は平年と比べて少し遅れている。(宮城県農業改良普及センター 6月21日付) (美 里) 草丈・節間からの伸び幅が大きく高め、茎数・平年より少ない品種が多く特に「だて正夢」「金のいぶき」で少ない。 (登 米) 「ひとめぼれ」の草丈、葉数は平年を上回っており、分けつるも概ね平年並に進んでいる。「だて正夢」は、草丈、葉数は平年を下回っているが、葉数は概ね平年並に推移している。「金のいぶき」の草丈、茎数、葉数は過去が年平均を上回っている。 (石 巻) 生育は回復傾向、草丈は長く、葉数は多い。(宮城県石巻農業改良普及センター 6月21日付) (大河原) 平年と比べて、草丈は長く、葉数はやや多い。葉数は多い。移植が早いほど有効茎数が確保されている傾向。 (宮城県大河原農業改良普及センター 6月22日付)		(全国) エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月25日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月(8:31)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。
秋田	(生育)	【6月10日現在】 (秋田) 田植後の生育は良好で、管内の生育調査における生育も概ね順調。1㎡当たり茎数は平年並ややや下回っているが、近年は生育が旺盛で過繁茂傾向であり、6月10日現在の茎数は過剰傾向で、葉数がやや低かったこと、本年は概ね適正な生育となっている。(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月16日付) (仙 北) 6月9日の定点調査では、草丈・葉数は平年並だが、茎数が平年より少なかった。気温の日較差が小さかったことなどが原因と思われる。(6月19日付) (北秋田) 6月9日現在の生育(あきたこまち:9地点平均)は、草丈が27.0cm(平年比99%)、葉数が15本/㎡(81%)、茎数が6.2本(平年並-0.2本)、5月15日以降、気温の日較差が小さい日が多かったため、分けつる発生が顕微にみられると見られる。(6月18日付) (秋田県農林政策課)		(全国) エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月25日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月(8:31)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。
山形	(生育)	・6月19日現在の平坦部は「はえぬき」の生育は、平年と比べて、草丈はやや長く、茎数は少なく、葉数は平年並、葉数は濃くなっている。 ・6月19日現在の「つや姫」の生育は、平年と比較して、草丈は並、茎数は少なく、葉数及び葉色は並となっている。 (山形おいしさを創る！米づくりプロジェクト 6月19日付)		(全国) エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月25日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台) 向こう1か月(8:31)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「はえぬき」及び「つや姫」を中心とする品種構成となっている。新品種「若者丸」は増加傾向にある。
福島	(育苗)	【6月6日現在】水稲作種解析試験における生育状況(平年比・差) ・「コシヒカリ」(郡山 5月15日移植) 草丈:94%、茎数:90%、葉数:-0.2 (会津 5月18日移植) 草丈:115%、茎数:96%、葉数:0.1 (浜 5月10日移植) 草丈:99%、茎数:96%、葉数:-0.1 ・「ひとめぼれ」(郡山 5月15日移植) 草丈:95%、茎数:98%、葉数:-0.3 (会津 5月18日移植) 草丈:114%、茎数:76%、葉数:0.1 (浜 5月10日移植) 草丈:95%、茎数:103%、葉数:0.2 (福島県農業総合センター 6月9日付)		(全国) エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 東北地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 東北地方の向こう3か月の平均気温は、ほぼ平年並の見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁仙台管区気象台) 東北地方は6月25日頃からかなりの高温。 (気象庁仙台管区気象台)	・「コシヒカリ」及び「ひとめぼれ」を中心とする品種構成となっている。近年、収量水準の高い「天のつぶ」が増えている。飼料米への転換が増えていることから比率はやや低下しているものの、まだ増加が見込まれる。
茨城	(生育)	【6月20日現在、水戸市】主産葉数からみた生育遅延 (5月1日移植) 「あきたこまち」4日早い、「ふくまるS」3日早い、「コシヒカリ」3日早い。 (5月10日移植) 「コシヒカリ」3日早い。 (茨城県農業総合センター-農業研究所作物研究室 6月21日付) (生育) 【6月16日現在、龍ヶ崎市】対平年遅延 (4月27日移植) 「あきたこまち」1日早い、「ふくまるS」1日早い、「コシヒカリ」3日遅い。 (5月6日移植) 「コシヒカリ」2日遅い (茨城県農業総合センター-農業研究所水田利用研究室 6月19日付)		(全国) エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は、平年並に近い見込み。 (気象庁東京管区気象台) 向こう1か月(8:31)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「コシヒカリ」及び「あきたこまち」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「たちぞの丸」が増加傾向にある。
栃木	(生育)	【5月29日現在】(本田調査) 「コシヒカリ」 ・草丈は前年並みで、茎数は高那郡那須、鹿沼、農試が多く、それ以外の地区はやや少なくなった(農試は前年より移植時期が4日早い)ため多くなっている。葉数は全県平均で0.2葉差んでいる。 「たちぞの丸」 ・草丈は全体的に、前年より短く平均21.4cm(前年比91%)、茎数は農試が139%と多くなったが、それ以外の地区平均は前年比81%と少なくなっている。葉色は、ほぼ前年並みとなっている。 (栃木県農産部経営技術課 5月29日付)		(全国) エルニーニョ現象が発生しているとみられる。今後、秋にかけて エルニーニョ現象が続く可能性が高い(90%) (気象庁 6月9日付) 【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁東京管区気象台) 【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並が高い見込み。 降水量は、平年並に近い見込み。 (気象庁東京管区気象台) 向こう1か月(8:31)の発生が多いと予想される。 (農林水産省 6月14日付)	・「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっている。なお、オリジナル品種「たちぞの丸」が増加傾向にある。

千 葉	<p>(生育状況等)</p> <p>【6月15日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ふさごめ」と「ふさごがね」の幼穂形成期は平年並に遅れている。4月20日播種「コシヒカリ」は6月22日頃から、「龍平」は6月21日頃からなる見込み。 現在の生育は、茎数はやや少なく、草丈はやや長く、葉色は濃く推移しており、例年より軟弱に生育している。 <p>(生育)</p> <p>＜生育進捗＞</p> <p>「ふさごめ (4月20日播種)」並、「ふさごがね (4月20日播種)」並、「コシヒカリ (4月20日播種)」並、「コシヒカリ (5月1日播種)」並、「稲すけ (4月20日播種)」並。</p> <p>(千葉県 6月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、平年並か多い見込み。(気象庁東管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ふさごめ」とを中心とする品種構成となっている。令和2年度から新品種「稲すけ」の本格栽培が開始
新 潟	<p>【6月20日現在】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」：指標値(生育のめやす)に比べ、草丈は「長い」、茎数は「並」、葉数の進みは「やや早い」、葉色は「やや濃い」状況。 「新之助」：指標値に比べ、草丈は「やや長い」、茎数は「少ない」、葉数の進みと葉色は「並」の状況。 「こいしぶき」：指標値に比べ、草丈と葉数の進み、葉色は「並」、茎数は「少ない」状況。(新潟県農林水産部 6月21日付) <p>(生育)</p> <p>(三 条) 本年の早生品種の幼穂形成期及び出穂期は、平年並からやや早いと予想。(三条農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(魚 沼) 「コシヒカリ」草丈：やや長い、茎数：多い、葉数：やや多い。(新潟県農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(南魚沼) 「コシヒカリ」草丈：長い、茎数：並、葉数：並。(新潟県農業普及指導センター 6月21日付)</p> <p>(十日町) 「コシヒカリ」草丈：長い、茎数：少ない、葉数：並。(十日町農業普及指導センター他 6月20日付)</p> <p>(上 越) 「コシヒカリ」草丈：長い、茎数：並、葉数：並。</p> <p>(こいしぶき) 草丈：長い、茎数：並、葉数：並。(上越農業普及指導センター 6月20日付)</p> <p>(佐 渡) 「コシヒカリ」草丈：やや長、茎数：並、葉数：並。(佐渡農業普及指導センター 6月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は6月25日頃からかなりの高温。(新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「こいしぶき」を中心とする品種構成で、近年「コシヒカリ」が減少し、収水量の高い「ゆきん子」及び「つきあかり」及び「ゆきん子」が増加傾向にある。また、「あきさかり」及び「こいしぶき」が減少傾向にある。また、「あきさかり」及び「こいしぶき」が増加傾向にある。
富 山	<p>【6月20日現在】 (生育状況)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」 平年に比べ、草丈、茎数、葉数は並となっている。今後、平年並の気温で推移した場合、幼穂形成期は7月11日頃と見込まれる。 「てんたかく」 幼穂形成期は、平年に比べ1日遅い6月26日頃と見込まれる。今後、平年並の気温で推移した場合、出穂期は7月17日頃と見込まれる。 「てんこもり」 平年に比べ、草丈はやや短く、茎数はやや少なく、葉数は0.4葉遅れ、葉色は並となっている。葉数を揃えて比較すると、平年に比べ、草丈、茎数、葉数は並となっている。今後、平年並の気温で推移した場合、幼穂形成期は平年に比べ2日程遅い7月14日頃と見込まれる。 「富富富」 近年に比べ、草丈、茎数、葉数、葉色は並となっている。葉数を揃えて比較すると、近年に比べ、草丈、茎数、葉色は並となっている。 <p>(富山県 6月20日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は6月25日頃からかなりの高温。(新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」を中心とする品種構成となっているものの、近年高温多湿でも生育が安定している「てんたかく」及び「てんこもり」の割合が増加傾向にある。また、「あきさかり」及び「こいしぶき」が増加傾向にある。
石 川	<p>【6月8日現在】</p> <p>(草丈)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」： 平年比85～134% (県平均107%、加賀：104%、能登：110%) 平年並～長く、前年に比べてやや長い。 「ゆめみづほ」： 平年比90～121% (県平均109%、加賀：105%、能登：112%) 平年に比べてやや長い～長く、前年に比べて長い。 「ひやくまん殿」： 近年比89%～129% (県平均108%、加賀：112%、能登：103%) 近年並～長く、前年に比べてやや長い～長い。 <p>(茎数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」： 平年比78～159% (県平均104% 加賀：105%、能登101%) 平年及び前年並。 「ゆめみづほ」： 平年比24～169% (県平均111%、加賀：104%、能登129%) 平年及び前年に比べて並～多い。 「ひやくまん殿」： 近年比7～189% (県平均114%、加賀：105%、能登129%) 近年及び前年に比べて並～多い。 <p>(葉数)</p> <ul style="list-style-type: none"> 葉数差は、「コシヒカリ」は平年及び前年並。「ゆめみづほ」も平年及び前年並。「ひやくまん殿」は近年及び前年と比べ2日程度早い。 <p>(石川県農林総合研究センター農業試験場 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は6月25日頃からかなりの高温。(新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ゆめみづほ」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル品種の「ひやくまん殿」が増加傾向にある。
福 井	<p>【6月14日調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「ハナエゼン」や遠移候補の「いちほまれ」は目標茎数に達している。 直播栽培や中旬移植は、茎数が平年よりかなり少く推移している。 <p>(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月16日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】</p> <p>北陸地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>北陸地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁新潟地方気象台)</p> <p>北陸地方は6月25日頃からかなりの高温。(新潟地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「ハナエゼン」を中心とする品種構成であるが、近年、県オリジナル品種の「いちほまれ」が増加傾向にある。
長 野		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】</p> <p>関東甲信地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁東管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>関東甲信地方の向こう3か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量は、平年並か多い見込み。(気象庁東管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」及び「あきたごま」を中心とする品種構成であるが、近年、品種構成に変化はない。県のオリジナル品種「風さやか」の導入を推進している。
滋 賀	<p>【水稲作況調査 (5月31日時点) による】</p> <p>(草丈) 「みずかがみ」「コシヒカリ」とともに平年より長くなった。</p> <p>(茎数) 「みずかがみ」「コシヒカリ」とともに平年並であった。</p> <p>(葉数) 「みずかがみ」「コシヒカリ」とも平年並であった。</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年から調査を開始した中生品種の「せらみずき」の草丈、茎数、葉数はそれぞれ、28.0cm、151本/m²、6.0枚であった。 <p>(滋賀県農業技術振興センター 6月9日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁大管区気象台)</p> <p>近畿地方は6月25日頃からかなりの高温。(大管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」、「みずかがみ」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。近年、高温多湿性に優れた「みずかがみ」の作付が推進されている。
兵 庫	<p>【5月29日時点】</p> <p>(県 北) 移植後、気温の高低差が大きいものの、本田での生育は順調である。</p> <p>(県 南) 現在、苗の生育は順調である。</p> <p>(育苗・生育)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】</p> <p>近畿地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁大管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>近畿地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁大管区気象台)</p> <p>近畿地方は6月25日頃からかなりの高温。(大管区気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「ヒノヒカリ」、「あきたごま」及び「日本晴」を中心とする品種構成である。「きぬむすめ」の作付拡大を推進している。
岡 山	<ul style="list-style-type: none"> 中北部地帯の田植時期、生育概況は概ね平年並である。 <p>(岡山県 5月30日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は6月25日頃からかなりの高温。(広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「アケボノ」、「きぬむすめ」、「コシヒカリ」、「あきたごま」及び「ヒノヒカリ」及び「きぬむすめ」を中心とする品種構成である。近年、「きぬむすめ」が増加傾向となっている。
広 島	<p>【6月9日調査】 広島県総合技術研究所農業技術センター農場 (東広島市八木松町)</p> <p>()内は平年値</p> <ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」(密植) 草丈：29.2 (27.7) cm、茎数：167 (214) 本/m²、葉色 (SPAD値) 36.5 (38.2)、葉齢5.3 (6.6) 「あきまろん」(密植) 草丈：27.2 (24.7) cm、茎数：189 (210) 本/m²、葉色 (SPAD値) 32.5 (38.5)、葉齢8.2 (6.5) 「ヒノヒカリ」(密植) 草丈：27.9 (23.1) cm、茎数：172 (220) 本/m²、葉色 (SPAD値) 37.5 (41.1)、葉齢5.5 (6.5) 「恋の予感」(普通植) 草丈：31.9cm、茎数：73本/m²、葉色 (SPAD値) 32.4、葉齢6.1 「あきさかり」(普通植) 草丈：26.0cm、茎数：91本/m²、葉色 (SPAD値) 35.3、葉齢6.1 <p>(広島県総合技術研究所農業技術センター 6月14日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】</p> <p>中国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】</p> <p>中国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。降水量は平年並か多い見込み。(気象庁広島地方気象台)</p> <p>中国地方は6月25日頃からかなりの高温。(広島地方気象台)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 「コシヒカリ」、「あきさかり」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。

(生育状況等)			
愛 媛	<p>【2023年度「ひめの涙」の生育状況 (6月15日現在)】 (5月22日移植)</p> <p>・草丈 (cm) 27.7 ・茎数 (本/m²) 190 ・1株あたり茎数 (本/株) 12.5 ・葉色 (SPAD 値) 41.5</p> <p>(愛媛県農林水産研究所 6月16日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 四国地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月7月7日～9日、ヒメトビウカの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月14日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「コシヒカリ」「あきたこまち」及び「たまご」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「ヒノヒカリ」から「たまご」への品種変更が定着してきている。</p>
高 知	<p>【5月月報】 (早期稲) 分けつ期 時期：並 ・夜温がやや低めで経過した時期があったことから、分けつ数はやや少ないが、概ね順調に経過している。</p> <p>(普通稲) 育苗期～活着期 時期：並 ・移植は5月10日頃から始まり、最盛期は5月下旬でほぼ平年並になる見込みである。 ・一部で育苗期間中に古いものも発生が報告されている。移植後の生育は概ね順調である。</p> <p>(高知県病害虫防除所 6月5日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 四国地方の向こう3か月の平均気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁高松地方気象台)</p> <p>向こう1か月7月7日～9日、ヒメトビウカの発生が多いと予想される。(農林水産省 6月14日付)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。</p>
福 岡	<p>【5月16日現在】</p> <p>【早期水稲】(夢つくし、コシヒカリ)◇ ・早期水稲の田植えは平年並で、5月15日までに終了した(最盛期は4月下旬)。 ・平年並～やや高い気温で経過しており、活着は概ね順調。</p> <p>【普通水稲】(夢つくし、元気つくし、ヒノヒカリなど)◇ 現在、6月上旬頃までの移植及び育苗作業が行われている。 ・田植えは、「夢つくし」で6月上旬、「元気つくし」で6月中旬、「ヒノヒカリ」で6月下旬を中心に行われる見込み。 (福岡県農林業総合試験場 5月19日付)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>向こう1か月7月7日～9日の発生が多いと予想される。(農林水産省 6月14日付)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」及び「元気つくし」を中心とする品種構成であるが、「元気つくし」が増加傾向となっている。県では「夢つくし」の拡大を推奨している。</p>
熊 本		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 九州北部地方の向こう1か月の平均気温は高い見込み。 降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州北部地方の3か月の気温は高い見込み。 降水量は平年並が多い見込み。 (気象庁福岡管区気象台)</p>	<p>・「ヒノヒカリ」「夢つくし」を中心とする品種構成である。はりーデイング品種として取扱いが年々拡大している。</p>
宮 崎	<p>【作物の生育状況 (5月中旬)】</p> <p>早期水稲は分けつ期。(宮崎県病害虫防除・肥料検査センター 5月24日)</p>	<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・「コシヒカリ」及び「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成に大きな変化はない。「みか389」への作付誘導が進められている。</p>
鹿 児 島		<p>【向こう1か月の天候の見通し 6月17日～7月16日】 九州南部地方の向こう1か月の平均気温は平年並か高い見込み。降水量と日照時間は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p> <p>【向こう3か月の天候の見通し 7月～9月】 九州南部地方の向こう3か月の気温は高い見込み。 降水量は、ほぼ平年並の見込み。 (気象庁鹿児島地方気象台)</p>	<p>・早期栽培は「コシヒカリ」、普通栽培は「ヒノヒカリ」を中心とする品種構成である。早期栽培では、収穫水準の低い「なつほのか」への移行が急速に進んでいる。</p>

注1：国及び地方自治体、出先機関等がホームページで公表している資料を掲載情報部で取り纏め。
注2：令和5年6月22日 15時30分時点での取り纏め。
注3：更新箇所は赤字で示した。

引用資料:

農作物の生育状況 6月15日現在(北海道農政部 6月21日)、
農作物生育状況 6月15日現在(北海道空知総合振興局 6月21日)、
農作物生育状況 6月15日現在(北海道石狩振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道後志総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道胆振総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道日高振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道渡島総合振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道檜山振興局 6月21日)、
農作物の生育状況 6月15日現在(北海道上川総合振興局 6月21日)、
農作物生育状況調査の概要 6月15日現在(北海道留萌振興局 6月21日)、
農作物の生育と農作業の進捗状況 6月15日現在(北海道オホーツク総合振興局 6月21日)、
水稲作況調査(6月20日現在の生育状況)(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所 6月20日)、
令和5年度水稲生育定期調査結果№2(岩手県農業研究センター 6月16日)、
令和5年度水稲の生育状況について(6月20日現在)(宮城県みやぎ米推進課生産販売班 6月21日)、
令和5年稲作情報第3号(宮城県亘理農業改良普及センター 6月21日)、
登米地域の稲作通信第4号(宮城県登米農業改良普及センター 6月21日)、
稲作情報(Vol.4)(宮城県石巻農業改良普及センター 6月21日)、
令和5年度気仙沼・南三陸稲作情報第3号(宮城県気仙沼農業改良普及センター 6月16日)
令和5年度南三陸稲作情報(第2号)(宮城県大河原農業改良普及センター 6月22日)、
令和5年度美里地区の稲作情報第4号(宮城県美里農業改良普及センター 6月20日)、
栗原の稲作通信令和5年第4号(宮城県栗原農業改良普及センター 6月21日)、
生育状況報告(秋田県ホームページ「こまちチャンネル」<http://www.e-komachi.jp/> 6月22日閲覧)、
米づくり技術情報№6(山形おいしさを極める!米づくりプロジェクト本部 6月19日)、
2023年水稲作柄解析試験における生育状況(福島県農業総合センター 6月9日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所作物研究室 6月21日)、
農研速報(茨城県農業総合センター農業研究所水田利用研究室 6月19日)、
水稲生育診断速報№1(栃木県農政部経営技術課 5月29日)、
水稲の生育と当面の対策第3報(千葉県農林水産部 6月19日)、
水稲の生育と今後の管理対策(第3号)(新潟県 6月21日)、
FAX稲作情報№5(三条農業普及指導センター 6月20日)、
コシヒカリ生育情報第3号(魚沼農業普及指導センター 6月20日)、
南魚沼産コシヒカリ生育速報№3(6月20日調査)(南魚沼農業普及指導センター 6月21日)、
コシヒカリ・こしいぶき生育速報№3(6月20日)(上越農業普及指導センター 6月20日)、
令和5年度稲作生育速報№3(佐渡農業普及指導センター 6月20日)、
十日町地域稲作生育速報(十日町農業普及指導センター)ほか 6月20日)、
TACS情報第4号(富山県 6月20日)、
令和5年度水稲の生育状況と今後の対策(水稲生育診断技術確立調査-3号)(石川県農林総合研究センター 6月9日)、
稲作情報№.7(水田農業レベルアップ委員会技術普及部会 6月16日)、
令和5年度水稲生育診断情報№1(滋賀県農業技術振興センター 6月8日)、
令和5年度兵庫県農業気象技術情報№2(6月情報)(兵庫県農林水産部 6月5日)、
令和5年度病害虫発生予報第3号(岡山県 5月30日)、
水稲生育状況(2023年6月14日)(広島県立総合技術研究所農業技術センター 6月14日)、
2023年度「ひめの凛」の生育状況(愛媛県農林水産研究所 6月16日)、
病害虫発生予報情報について 令和5年度病害虫発生予報5月月報(高知県病害虫防除所 6月5日)、
福岡県の主な農作物の生産状況(福岡県農林業総合試験場 5月19日)、
令和5年度病害虫発生予報第2号(宮崎県病害虫防除所・肥料検査センター 5月24日)、

北海道地方こう1か月の天候の見通し(6月15日札幌管区気象台)、東北地方こう1か月の天候の見通し(6月15日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう1か月の天候の見通し(6月15日気象庁)
北陸地方こう1か月の天候の見通し(6月15日新潟地方気象台)、近畿地方こう1か月の天候の見通し(6月15日大阪管区気象台)、中国地方こう1か月の天候の見通し(6月15日広島地方気象台)
四国地方こう1か月の天候の見通し(6月15日高松地方気象台)、九州北部地方こう1か月の天候の見通し(6月15日福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方こう1か月の天候の見通し(6月15日鹿児島地方気象台)、

北海道地方こう3か月の天候の見通し(6月20日札幌管区気象台)、東北地方こう3か月の天候の見通し(6月20日仙台管区気象台)、関東甲信地方こう3か月の天候の見通し(6月20日気象庁)
北陸地方こう3か月の天候の見通し(6月20日新潟地方気象台)、近畿地方こう3か月の天候の見通し(6月20日大阪管区気象台)、中国地方こう3か月の天候の見通し(6月20日広島地方気象台)
四国地方こう3か月の天候の見通し(6月20日高松地方気象台)、九州北部地方こう3か月の天候の見通し(6月20日福岡管区気象台)、九州南部・奄美地方こう3か月の天候の見通し(6月20日鹿児島地方気象台)、

早期天候情報(6月19日14時30分 気象庁)、
エルニーニョ監視速報(№369)について(気象庁 6月9日)、

「令和5年度病害虫発生予報第3号」(農林水産省 6月14日)、
令和5年度水稲の10a当たり平均収量に係る生産事情(都道府県別)(農林水産省 3月15日)